



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 27 年 2 月 14 日(土)
のしろまち灯り・冬 編

平成 19 年の冬から始めた「のしろまち灯り・冬」は 9 回を数えます。回を重ねるごとに参加団体が増え、特に昨年から若者や商店主の団体(逸品会)が参加し活気あふれるイベントとなった。

開催場所は能代市中心市街地。一方、昨年まで利用していた上町の複合施設サンピノが突然の使用不可！理由は条例違反(物販販売禁止)10 年前に建設された市民の交流を目的とした施設で、上町自主防災訓練やセミナーの会場でもあります。納得のいかない事に議論している余裕もなく、厳寒の中の物販や子供達の遊ぶ場作りを急ぎよ考えなくてはならなくなり、ひらめいたのが「歩行者天国」。早速、警察署長さんを訪ねご理解をいただき許可がおりました(感謝)。

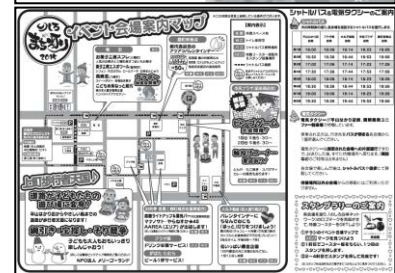
また、前日に「のしろ市民まちづくりフォーラム」を開催し、講師を務めていただいた藤村望洋先生にまち灯りをご覧いただき、アドバイスをいただいたことは、最高の喜びとなりました。この日はちょうどバレンタインデーの土曜日♪30 分ごとに会場を巡回するバスはいつも満席で、スタンプラリーもすっきり定着。毎回無償で電気自動車 2 台を提供して下さる第一タクシーさんも大忙しでした。4 か所のイルミネーションも満喫できたことと思います。

上町の歩行者天国では出店者はテントを使用せず、既存店舗を利用。通り一帯がまちなかの賑わい創出となり、着ぐるみは子供達の人気を集め、道路でのソリ競争はみんな初めての体験！親子で楽しんでくれました。道路に雪が足りず、トラック 3 杯の雪を運んで下さった西村土建さん、ありがとうございました♪地域の皆さんも全面協力して下さい、昨年できたばかりのサンクス能代上町店、デイサービスやさしい風、能代郵便局では駐車場の提供。企業、住民が一体となったまち灯りとなり感激と感謝の一日でした。

畠町新拠点では逸品会が「アツアツバレンタインデー」を企画。子供達の綿あめ体験が人気を集め、駅前「市民プラザ」の鍋は直ぐに完売！ビンゴゲームが大盛況。西大通りではバレンタインデーにちなみ、愛の告白で食事券プレゼント♥旧料亭 金勇では、若者たちの団体「マノサト」は癒しを中心に小部屋の利用。「やらねすか☆48」は雪見バーや《やらねすか焼き》で大賑わい。AAREAの秋田杉製品も人気を集め過去最高の集客となりました。

柳町のプラザ都では毎年ドリンク半額。炉ばた たむらはまち灯りに参加でビール1杯サービス！など有難い協力をして下さり、各会場をホロ酔い気分です歩いてくれた方も多かったのではないのでしょうか。

日本海沿岸の 2 月は強風と寒さで身も凍ります！そんな中でのイベントに参加して頂ける事は本当に嬉しい事です。特に上町歩行者天国で凍てつく寒さの中、ずっと道路警備をしてくれたNYCスクエアの若者たちに後日「風邪をひきませんでしたか」と聞くと「大丈夫です、また誘って下さい。」



今年のチラシも A3 版面面を使うボリュームです。今回も商工会議所青年部のご協力子どもたちへ印刷、配布ができました。



けやき公園のイルミネーション。会場巡回バスの見所のひとつとなりました。



西村土建さんのご協力ですできた雪山にもスギ灯りを設置しました(上)。能代工業高校のご協力による LED スギが歩行者天国の足元を照らします(下)。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

との言葉に安堵と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

当日は強風でなかなか火が付かなかったワンカップのリサイクルろうそくも、若者たち、能代養護学校、常盤小学校の協力で 500 個完成。今までにない大きな力で支えていただきました。何をやっても担い手不足でどうにもならないと諦めていたことが、他団体との協力により成し遂げることができ、今回もまた人間力の素晴らしさを体験することができたことを嬉しく思います。

大仙市からは、この日のために東日本大震災復興支援「夢灯りプロジェクト」の皆さんが参加して下さい、牛乳パックで作る「夢灯り」を 50 個持参し上町の商店や空き店舗を美しい灯りで飾って下さいました。

まち灯りは文字通り灯りを楽しみ、まちを歩くことでまちを知り活性化につなげることを目的としています。「商店街を繋げる必要があるのか」という疑問の声も毎年のように聞かれますが、こうした機会に顔の見える間柄を作ること、能代が苦手な連携をはかるきっかけになり元気になれたらと思うのですが・・・。

11 月から 4 ヶ月間を準備に費やし、多くの方々の労力をお借りしたまち灯り。今年はチラシもプロの方においしい皆さんに楽しんで頂けるイベントをするために精いっぱい力を尽くしたつもりです。この継続がいつか役立つことを願うばかりです。皆さん、お疲れ様でした。また、みんなで楽しみましょう(〇^)/

文：能登 祐子

第 16 回のしろまち灯り

2 月 14 日の「のしろまち灯り」に向けて、1 月 24 日、子ども館で廃食用油を利用したろうそく作りを行いました。能代市の環境学習講座「能代こども環境探偵団」との共催事業で、園児や児童を中心に、午前・午後の 2 回合わせて 74 名の参加がありました。

市民や南部共同調理場から提供していただいた廃食用油を使用し、約 140 個のろうそくを完成させました。また、参加者へのお土産として、カラフルに色付けしたろうそくを製作しました。これは、市内の寺院から寄付された使用済みろうそくを溶かし、その上に、上町すみれ会会員に作っていただいた桜の花や葉を飾りつけし、きれいに仕上げることができました。

最後に、完成したろうそくに、子どもたちが火を灯して、出来栄を確認しました。参加者は、「のしろまち灯り」で灯されるのをとても楽しみにしている様子でした。

まち灯りの当日は、上町、柳町、畠町、駅前、西大通りの 5 会場、午後 5 時頃、秋田杉の間伐材をスタンドに使ったろうそく等を約 800 個点灯しました。あいにく、前日からの強風が収まらず、すぐに消えてしまうろうそくがありました、多くの方が雪景色の街を灯すろうそくを楽しみました。

また、「みんなで乗ればエコになる」ということで運行したシャトルバスは、5 会場を 1 周 30 分で巡回しました。コンポスト見直し隊による各会場の案内を聞きながら、けやき公園や



長慶寺さんからいただいた使用済みろうそくと丸井ローソクからいただいた芯を使い、リサイクルカラーろうそくも作りました。



大仙市の「夢灯りプロジェクト」は旧テラタを貸していただいて展示しました。



まち灯り開催前には子ども館で、廃食用油からろうそくを作りました。そのつくり方と予想以上の明るさに子どもたちもビックリです。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

能代駅前など市内のイルミネーションを楽しむことができました。大変好評で延べ 254 人の方にご利用いただき、各会場でのイベントも楽しんでいただけたことと思います。

今年も天候には恵まれませんでしたが、たくさんの方に参加していただき、無事終えることができました。ろうそく作りやまち灯りにご協力いただいた関係者の皆様に、感謝申し上げます。

文：能代市環境衛生課 課長 田村 典勝

シャトルバス「みんなで乗ればエコになるバス」ガイド報告

①のべ乗車人数 254 人(去年は 183 人)。平山はかり店から乗車 117 人、プラザ都から 29 人、大丸不動産から 33 人、市民プラザから 51 人、畠町新拠点から 24 人

②バスに「シャトルバスみんなで乗ればエコになるバス」の表示が 4 面に貼られ、分かりやすかったのではないかな。

③2-7 便まで補助席を利用して対応したが、乗れない人が数名出るほど利用が多かった。バスの中では案内をしたが、直接、電気タクシーの利用を伝えるべきだった。

④一般車と電気タクシーが停車していたため、雪山の前に乗客を降ろすわけにいかず、平山はかり店前でバスを停められないことが 1 度あった。

⑤ガイド役としては基本的に、協力団体は全て紹介することになっているが、今回は団体数が多く、歩行者天国の店は全部を紹介できなかった。

⑥バスに「千両箱」を乗せて募金を願うかどうか当日の話になったが、一考を要するのではないだろうか。募金をお願いしてきた背景には、BDF のバス代を少しでも支援していただくためと理解している。しかし、使用しているのは能代市のバスなので、バス代の募金にはムリがある。まち灯りというイベントに対する募金ということになるのだろうが、それをバス乗客だけに求めるのは誤解が生じないだろうか。次回、千両箱を活用するにはご一考を！

お世話になりました。有難うございました。

文：コンポスト見直し隊 隊長 高橋 陽子

■会場 上町歩行者天国

まち灯り上町編

前日の暴風雪には心配しましたが、当日はまずまずの天気です。上町では公共施設であるサンピノが使用できないことになり、初めての試みとして平山はかり店からやさしい風までを歩行者天国として開催することに。

車両通行止めとなった道路は、NPO 法人メリーゴーランドによるソリ遊び、雪に埋まったマシュマロを探す宝探しゲームなどで楽しい遊び場に変身しました。道路に面した各お店でそれぞれに楽しい催し物が開催され大盛況となりました。

①菊広：菓子工房スフレ・菓子工房エスポワール・高峰堂



子どもたちのおかげで廃食用油のろうそくもたくさん完成しました。



マイカー社会の地方都市では公共交通の利用とエコのつながりは分かりにくいものかもしれませんが、これからもたくさんの親子にバスに乗っていただけると嬉しいですね。



午後 3 時からいつもの道が歩行者天国にやソリ引きレース会場に変わりました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

のスイーツ集合・こども未来ねっと能代の東日本大震災支援ハンドメイドアクセサリー販売・菊広のガラポン抽選会開催。抽選券配布でたくさん子ども達に好評。

②平山はかり店：ウッディさんないの木製品展示販売・「夢灯りプロジェクト」灯籠展示・南三陸復興タコの会まゆ細工販売・ぐるーぷあばんしえ・ねぎー菜グッズとこめつきー販売。4箇所回ると木製コースター完成のスタンプラリー会場

③夢工房咲く・咲く：町すみれ会「すみれカフェ」・藤里町社会福祉協議会白神まいたけキッシュ販売・能代市連合婦人会歯舞根昆布・浜太郎販売・会津若松姉妹街道フェア・南三陸復興フェア・NPO 法人常盤ときめき隊だまこ鍋・焼き鳥他販売

④キッチン細田前：茶誠堂 味噌たんぼ、玉こんにやく他販売・鶴形そば販売 ⑤能登歯科車庫：能代養護学校木工品、ハーブ、加工製品販売 ⑥やま久：天ぷらうどん、ギバサうどん、豚なんこつ販売 ⑦ヒサヤ大食堂：まち灯り限定紅焼牛すじ(香港式牛スジ煮)販売 ⑧原田だがり屋：駄菓子販売 ⑨やさしい風：イルミネーション設置・駐車場提供 ⑩旧テラタ：「夢灯りプロジェクト」灯籠展示

などなど盛りだくさんのイベント会場に。さらに盛り上げようと歩行者天国内を、さる・パンダ・くまの着ぐるみボランティアが会場内案内プラカードを持ちながら歩いてくれました。スグッチも来てくれて大人気！

平山はかり店前は、シャトルバスと電気タクシー停留所となって人の乗り降りも多かったのですが、自称「DJポリス」の鎌田さんが軽快に楽しく人と車を誘導してくれ、スムーズな流れとなりました。上町は秋銀の移転跡がコンビニのサンクスとなりましたが、駐車場とトイレ、雪山を利用させてもらうなど協力してもらったり、歩行者天国の道路端にはボランティアが寒い中車両誘導でがんばってくれたおかげで、子ども連れの家族はじめ たくさんの方達が来てくれました。

午後5時には、まち灯りメインイベントの会場に並べられた「スギ灯り」点火となりました。しかし、やはり能代は風が強い町なので消えてしまったスギ灯りも多く、毎年のことながらこれが課題ですね。今回はろうそく作りにたくさんの方達がかかわってただけにちょっと残念。また工夫していきたいですね。

初めての歩行者天国でしたが、まずは事故無く無事に終わったことを喜び、それから各お店には完売したところ、そうでないところありましたが、来てくれたたくさんの方達が各会場を楽しんでくれたのがよかったですね。特に、「めん choco カード」提示でお得なサービスも受けられるということもあり、若い家族に喜ばれました。銀行、スーパーが移転し寂しくなった上町ににぎわいを作ることが出来たこと、そのためにたくさんの方達の協力があったことありがとうございました！寒い中お疲れ様でした！

文：平山 はるみ



上町のあちこちから美味しそうなおみや楽しそうな声が聞こえる一日となりました。



咲く咲くでは防災朝市でご縁ができた南三陸町の海苔やおせんべい、姉妹街道の会津若松の花嫁甘納豆も販売されました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

共生社会の実現に向けて・・・

能代養護学校の「のしろまち灯り」への参加は、今回で4度目となりました。児童生徒の「自分たちの住む能代市のためにできることはないか」そんな思いから毎回参加させていただいております。

イベントで使用するろうそくの製作にも協力させていただいております。ろうそくの製作時には、上町すみれ会の方々に来校しご指導いただきました。本校高等部の生徒41名全員が参加し200本のろうそくを製作しました。生徒からは、「ろうそくに色を付けることができたらかわいいね」等の積極的な意見も聞かれるなどイベント成功に向けて積極的に取り組む姿が見られたことをうれしく思います。

イベント当日には、本校の学習成果物であるラベンダーの香り袋やリンゴジュース、梨缶などの販売を行いました。販売では自分たちの取組をPRしたり、商品やお金のやりとりをしたりする中で、「笑顔で対応すること」「ゆっくり話すこと」など接客態度を学ぶことができました。また、何よりも自分たちが作った製品をお客さんに買ってもらうことは大きな自信へつながり、今後も人に喜ばれる物づくりをがんばっていこうという意欲にもつながったことと思います。

イベントへの参加を通して、生徒が地元能代への愛着を深めるだけでなく、地域の方に養護学校の生徒やその取組を知ってもらうことは、能代市を住みよい町にしていく上で大切なことであると考えています。障害のある人もない人も笑顔で暮らせるそんな町を目指し、イベントを通して出会った人とのつながりを大切にしていきたいと考えております。有難うございました。そして、これからも宜しく願ひ致します。

文：秋田県立能代養護学校 教諭 神田 純一

「のしろまち灯り」レポート

○歩行者誘導隊について

来場者駐車スペース：「やさしい風」の道路向かいの駐車場が除雪されていない状態だったので、当日の開始前に除雪作業をし、5～6台程度の駐車スペースを作った。イベント中には、この駐車場が十分に活用されていた。次回も同じ場所を会場とする場合には、予め除雪を依頼するか、又は除雪を計画に入れておき人員を割り振っておくことが必要と考える。

歩行者天国の路面：準備段階から凍結していたため、能登歯科医院（能代養護学校のブース）前の雪を可能な限り除去したほか、融雪剤を散布した。また、その他にも所々に融雪剤を散布したが、開始後、来場者の通行により路面がテカリだして滑るようになったため、イベント途中で広範囲に融雪剤を散布した。次回も同じ場所を会場とする場合には、融雪剤を予め広範囲に散布するほか、今回と同様にイベント途中にも融雪剤の散布が必要である。

来場者が歩行者天国を郵便局側に抜けた後、車両通行止め区間以外の車道でも車両に注意を払わない方々があり、交通事故が心配された。「ここからは自動車に御注意下さい。」など歩行者誘導隊が声掛けをすることが必要である。



能代養護学校の生徒さんたちは、ワンカップの空き容器を活用したりサイクルろうそくを200個も作って下さいました。



スギ屋台で学習成果物の販売をしていただきました(上)。商品の製作過程を伝えるパネル(下)はお客さんの購入の動機付けにもなっているようでした。どれも丁寧に作られているものだけに、これからもおいでいただけると嬉しいです。



会場最寄りに駐車場をお借りでき、多くの方に利用していただきました(上)。歩行者誘導隊、明るい時はあまり目立ちませんが、暗くなると凄いです！



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

○着ぐるみ隊について

小さな子供が着ぐるみに感心を持つのは数分が限度であるので、今回のように出ずっぱりだと、飽きられてしまう。予め登場時間を決めて、チラシ等に記載したらどうか。その約束を確実に守るためには、天候に影響されない場所で活動することが望ましいので、次回は屋内等で適当な場所がないかを検討することが必要である。

風の影響でスギ灯りが消えていたため、咲く咲く付近以外の歩行者天国は暗く、暗闇に着ぐるみが立っているのは、不気味だった。スギ灯りが全て点灯していたら、幻想的でとても綺麗だったはずなので、スギ灯りの風対策(雨の場合も)を講じる必要があるが、残念ながら今のところ、対策の具体的なアイデアを持ち合わせていない。

文：秋田県山本地域振興局総務企画部地域企画課

■会場 料亭旧金勇

のしろまち灯りレポート

○金勇での販売に対しての反省点

①当日配膳の連携が上手くいかずいたので、飲食ホール業務のオペレーションを事前に確認すべき。←シュミレーションして互いに把握すれば改善されるはず

②日本酒を提供するなら『つまみ』が欲しいとの声があった。←多少値段が高くなってもつまみをつけてもいいかも。やらねすかやきをつまみにする人もいた

③メニューがテーブルだけにしかなく何を売っているのかわからなかった。←入り口にも置く工夫があれば

④会計のタイミングや場所がわからなかった←テーブル会計や広間の入り口に会計所を設ける。

⑤お菓子のお土産用もあればよかった←即改善できると思う。

○良かった点

①琴の演奏は良かったができれば大広間の舞台の方がもっとよかったのでは。②やらねすかやきがとても好評で残す人がいなかった。55杯販売。③どこかのお店で食べれないかという声をいただいた。④スイーツやかやきが安いと評判だった。⑤最初から最後まで忙しかったし少しでも収入も得る事ができた。⑥天気が大いに左右されるイベントだと思った。

○イベント全体への課題点

①ライトアップでもっと集客したかったので金勇に杉あかりをもっと配置したかった。②残念ながら屋根からの雪で庭が見えなかった。③チラシをかなり配布したが多くの人に渡らず、告知できなかった。④金勇では小部屋はイベントには向かない。⑤イベント専用のホームページがあればよかった←あれば拡散しやすい。電子書籍(秋田 e-books 利用)

⑥市外からのお客さんがバスでプラザの前で降りたものの、金勇の行き方がわからないとの声があった。←看板などを配置。

⑦リサイクルローソクもいいけど、灯りを演出するなら LED



寒い中、歩行者誘導と着ぐるみ PR 隊を交互につとめて下さった若者の方々、有難うございました。動物たちもスギッチも、スマートで足が長かったですね。



視察していただいた藤村望洋さん絶賛の金勇メニュー。かやき(上)もお菓子も(下)、空間や時間、量、味などを考えると価格が安すぎて勿体ないのご指摘も。



お琴の演奏は旧金勇が会場ならではの企画ですね。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

をもっと使っていいのでは？⑧一斉にスタートしなくても昼からや朝からでもやれる方はやってもいいのでは？食堂関係者とか。小物販売とか。⑨今年は天候に恵まれたから良かったが悪天候の場合でも集客できるモノを考えておいた方がいいかも。⑩来場者アンケートを書いてもらった方へのサービスを提供してみてもいいのでは？

文： のしろ盛り上げ隊やらねすか☆48 代表 武田 成史

第16回のしろまち灯り

まち灯りに参加させていただき、ありがとうございました。今年は旧料亭金勇ですので、少数ずつ3つの小部屋に分かれる初めての出店形式となりましたが、これはこれで各部屋に入ってくるお客様が新鮮な感覚で良いと思いました。

ただ、今回のような場合は特に各部屋への誘導看板をしっかりとわかりやすく書き、尚且つお客様への説明やご案内するスタッフが必要だと思いました。人が流れにくい部屋もありましたが、ブラックボードの設置、BGM、団体旗の提示をするなどの工夫により、人足を増やすことができました。

イベントは広いフロアでの出店がほとんどですが、まちなかの限られたスペースでも臨機応変にブースを出すことができるとう新たな発見になったと感じました。この度は柳町商店街振興組合のご理解のもと、大好評であったやらねすか★48の日本酒バーなどの企画とコラボレーションすることができたおかげで、前回よりも金勇への集客を飛躍的に伸ばすことができ、他団体との連携が来年度以降もイベントを盛り上げる要因になりうることを実感しました。

文： マナノサトプロジェクト 代表 落合康友



旧金勇の各部屋もイベント会場になりました。外は寒くても、畳の上というのは和みますね。

■会場 畠町新拠点

のしろまち灯り2015 能代逸品会報告

天気に恵まれ、来場者数は昨年より3割増し以上のように思えた。事前の告知、チラシの完成度の高さ、ポスターの綺麗さ、SNSによる告知など、とてもうまく宣伝でき、盛況につながったと思う。バスの運行時間や、市民プラザのビンゴ企画などの時間に合わせ、人が流れているのを感じた。

昨年の反省を踏まえ、鍋(牛スジ煮込み)は50人前としたが完売、子どもを対象にした「綿あめ体験」も列を作るほどの大盛況で、賑わいを作ることができた。その他のブースも、バレンタインということもあり、試食を用意したケーキはほぼ完売となり、売り方の勉強にもなった。無料コーナーを用意したことも、次のバスまでの休憩として利用してもらったり、ゆっくりくつろいでもらえた。

反省点としては、人が押し寄せてきたときの対応をもっとスムーズに行えるようにならないといけないと思った。会場の設置で、来場者の流れがもっと良くなる工夫があったように思う(2箇所に分かれたことで、配置に工夫が必要)。





こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

ろうそくの灯り、外の演出がもう少し欲しかった。新拠点職員に任せっきりだったので、逸品会としてその辺の協力も必要だったと思う。バスの運行で、降りる人がいなかったのか停まらずに過ぎて行って、乗車を待っていた人が取り残された。今回のように人手が多いと、8時を過ぎてても来場者がいたので、時間の延長を考えては。

今回 2 回目の参加だが、目に見えて昨年より人出も多く盛り上がったように思う。市民プラザから次は上町へと、歩いて廻る人も多かったと思う。天気にも左右されないイベントなどあまりないのだが、来年も良い天気で、盛り上がって行きたいと思う。

お疲れ様でした。ありがとうございました。

文：能代逸品会 工藤誠記

のしろまち灯り・冬」の畠町新拠点の実施結果について

○会場準備(当日 13~16 時)

スタッフ 3 人でまち灯りの準備作業を行った:若松菓子工房前~相澤屋まで、ろうそく設置用かまくら作り。ろうそくは牛乳パックで作成した 50 個と、事務局からきたろうそく 50 個の計 100 個を設置。

逸品会会員による販売ブースづくり

○イベント&ブース

能代逸品会ブース:第2教室は①煮込みとスイーツと甘酒の販売とわたあめつくり体験(子供に好評)②スタンプラリーとめんちょこサービス(お菓子)。第1教室は①カスミと松雲堂のバレンタインデー用のチョコレート販売②逸品会加盟店の商品販売(北林,武田,陶遊,タケウチ)③コーヒーの無料サービス④事務局によるアンケート実施。

○畠町新拠点施設利用者数(16~20 時) のべ 376 人

○その他 畠町新拠点のブログ用に周辺イベントを取材

○感想

・市民プラザからの人の流れのせいか、親子連れが多く、子供受けのよい「わたあめつくり体験」は大盛況でした。

・ピーク時にはシャトルバスは満車で、到着しても乗車できないことが何回かありました。

・個人的な意見ですが、2 回目の準備会の案件としてあがった協賛金ですが、次回は事務局で決定して、第1回目の準備会開催案内文書に協賛金を明記するのが良いのではないかと感じました。案件として出席者におはかりすると、様々な意見が出て決定しにくいのではないのでしょうか。

・今回は会場決定に難航したと思いますが、結果的には、上町歩行者天国という新しい方向性ができて良かったのではないのでしょうか。

事務局の皆様、大変お疲れ様でした。

文：能代市中心市街地活性化室



お店自慢のひと品が並びます。イベント時にめん choco 利用ができる出店も増えてほしいですね。



室内と違って、外のろうそくは風が強くて点灯するのも大変でした。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

のしろまち灯り 2015 の報告書

今回いろいろまわって見学させていただきましたが、私の個人的な感想を述べさせていただきます。早い時間帯ではあまりにぎわっていないところもあったが、時間がたつにつれ全般的には大勢の人でにぎわっていたように思われます。

市民プラザ: 16:00 前後に見学のときは、ほとんどいなかったが、ビンゴ大会直後にのぞいてみたら 座る場所もないくらいの賑わいでした。

畠町新拠点: シャトルバスの第一便で数組の家族が訪れてからだんだんにぎやかになってきた。こどもが自分で体験できるわたあめ作りが好評。再度 18:00 頃のぞいたときは順番待ち状態でお店のなかが人でいっぱい。スタンプラリーの会場でもあったのでかなりにぎわっていたと思います。ただ、同じ場所で煮込みや甘酒の販売もしていたので、かなり狭かった。甘酒は可能ならば温かいのが飲みたいと思った。

上町エリア: 歩行者天国ゾーン付近は早い時間帯でも大勢でにぎわっていた。ただ、綱引き、宝探し、そり競争などはいつ始まって、いつ終わったのかが分からなかった。屋台はいつでもにぎわっていたが、店内販売のところは、それほど人が入ってはいなかった様におもわれ、屋台との温度差を感じた。

柳町エリア: 旧料亭金勇ではにぎわっていたと思うが、プラザ都、炉ばたむらはのぞいていないので状況がわからない。金勇でも大勢のひとが訪れていたが、出店者の販売状況は、どうだったのかがよくわからない。

大丸不動産: 17:30 頃おじゃました時はそれほどまだひとはいなかった。再訪しなかったなのでその後の様子はわからないが、他の人の話では、かなり大勢でにぎわっていたとの事。100 円募金の甘酒は温かく、ずっと歩いてまわってきた体にはありがたかった。

ちょっとおもったこと

①シャトルバスの乗降場所の表示はよかった。案内のひとも楽しく説明してくれた。②風以外の要因とおもわれるが、かなりの数のろうそくが消えてしまっていた。再度点火しようと試みたが、だめだった(そこが少し残念)③スタンプラリーではスタンプを押すのが少し難しそうだった。④食べ物・物販関係はやっぱり1か所で固めたほうが、相乗効果もあり、盛り上がりを感じた。サンピノが使用できればよいのでしょうか。⑤そんなにおおげさでなくてもよいので、雪像やかまくらとかがあってもおもしろいかなあと思う。ニュースでもやっていたが、お巡りさんが本物みたいなパトカーをつくるとか。

⑥牛スジ煮込みが私が把握したなかで、2 か所で販売されていましたが、200 円の差がありました。もちろん材料や調理の方法、量もあると思いますが、可能であればなるべく統一してくれればとおもいました。

※すべての場所をじっくり見学したわけではなく、短い滞在時間のなかでの感想です。

文: 能代観光協会 佐藤 哲也



今回もたくさんの方々のご協力で作ったろうそくや色々なあかりが各会場を灯しました。